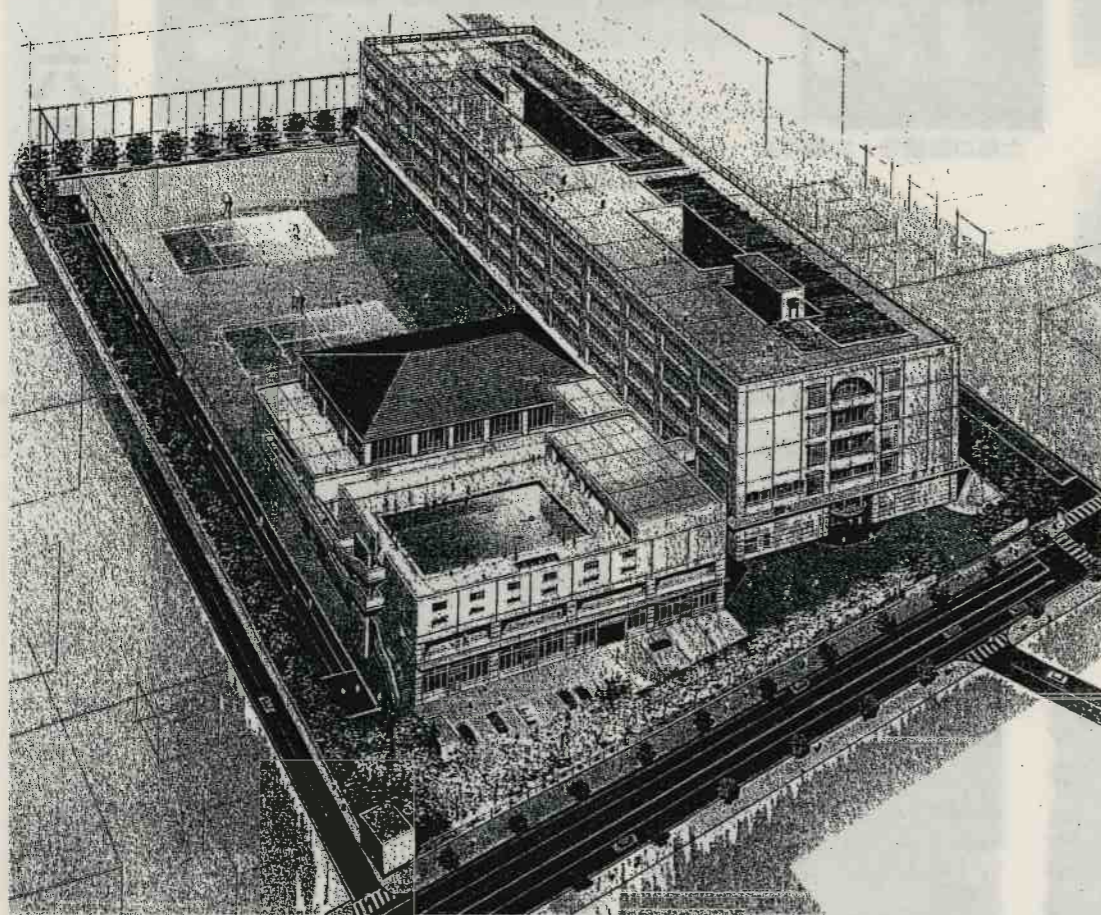


☆11月3日、南三の瀬谷角太郎氏は永年の消防団活動により「瑞宝単光章」が授与されました。

六郷特別出張所管内	
人 口	男 32,771 名
	女 31,033 名
	計 63,804 名
世帯数	29,248 世帯
平成 15 年 10 月 1 日現在	

六郷わかまち

発行 わがまち大田
 六郷地区推進委員会
 編集 「六郷わかまち」編集委員会
 事務局 大田区六郷特別出張所
 〒144-0055
 大田区仲六郷 2-42-2
 電話 03(3732)4885(代)



完成予想図・手前の斜線は京浜国道

平成 16 年 4 月
開 校 予 定

企業と高校が提携した新しい職業教育 東京都立六郷工科高等学校

事務室長 安部 和夫

京浜急行「雑色駅」に近く、第一京浜国道に面した第一屋敷パン工場跡地に、来年四月に開校する東京都立六郷工科高等学校の現状について報告いたします。建設中の新しい校舎も、ほぼ外観が出来上がり、皆様のお目に止まっていることと存じますが、今後内装や外構の工事を経て、明年三月に竣工の予定でございます。

今まで工事により東六郷二丁目の皆さんをはじめ近隣の方々には、工事車両の出入りや騒音など多大なご迷惑をお掛けしているにもかかわらず、曲げてご理解を賜り、深く感謝申し上げます。

この六郷工科高校のモットーは「新しいタイプの工科高校」でございます。既存の工業高校とは全く異なった質の教育・指導を行うことにより、日本の大田区の地域の産業を支えうる人材を育成いたします。その期

待と自負を込めて、校名も、歴史と伝統と暖かい地域性を感じさせる「六郷」の名を冠させて頂きました。この名を汚すことのない高校を作る決意です。

学校のカタチは、単位制の工業高校と言いまして、さまざまな講座の中から必要な単位を取って、卒業することとなります。

昼間部には、ものづくり・電気・コンピュータ・デザイン・自動車などを学ぶ四つの工業系学科と、デュアルシステム科がございます。特にそのなかでもデザイン科には女子が多数入学する予定です。また従来の工業高校に比べ大学への進学にも配慮しております。

さらに定時制夜間部は、二クラスですが、現在、本羽田三丁目の都立つばさ総合高校内で一緒に学んでいる羽田工業高校・羽田高校の生徒たちも、やがてこの場所で学ぶこととなります。また、六郷工科高校は実習に

力を入れて、技術を磨き、各種の資格の取得を奨励いたしますが、合わせて生徒一人一人のマナーや礼儀、社会的常識を身に付けさせることを重視し、そのための講座も必修科目で設け徹底します。もちろん昼間部の生徒には日常生活での制服の着用を義務づけ、高校生らしい学校生活を送らせることにより、社会に通用する人材を育成します。

地域との連携は学校の重要なコンセプトでございます。休日などにおける校庭や体育施設の活用はもとより、最も重視しているのは、大田区産業振興協会（ピオ）などを通じて、地域の産業振興へのお手伝いや、六郷中学・南六郷中学さらに小学校の生徒さんにも、ものづくりの楽しさ、難しさ、面白さを知っていただくための普及に役立ちたいと計画しています。

六郷地域の皆さんには、校舎竣工後早い機会に施設をごらんいただき、地域の発展に役立つ都立高校の未来にご助言を賜りたいと存じます。また身近に中学生のお子さんがいらっしゃるいましたら、数ある高校の中から、堅実な将来をめざすことが可能なこの六郷工科高校を、進路の選択の一つに入れていただきたいと思います。

学校の所在地は、東六郷二丁目 18-2 で、敷地面積約一万五千㎡に、五階建ての校舎と三階建ての体育棟が建つこととなります。



古川薬師の阿弥陀如来・薬師如来・釈迦如来（都指定文化財）
毎月 8 日の 10 時から 15 時まで拝観できる（西六郷 2-33-10）



木橋時代の旧六郷橋の橋台（石垣）が残っている



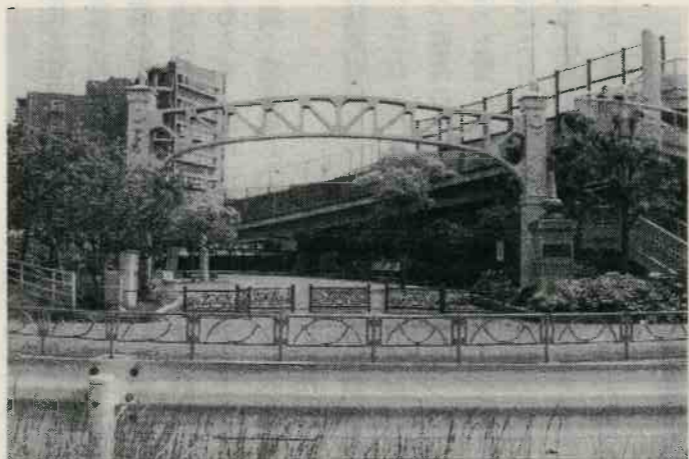
六郷の総鎮守・六郷神社——1月7日には流鏑馬の神事、6月上旬の祭礼には
子ども獅子舞が行われる（東六郷 3-10-18）



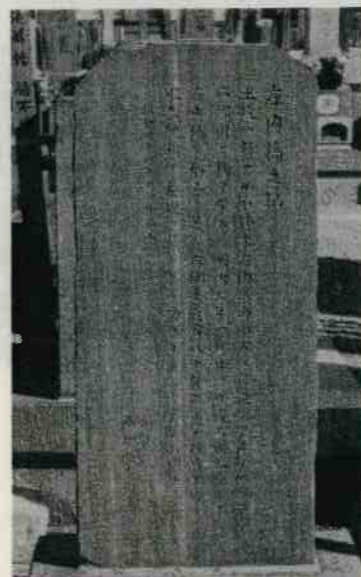
古川薬師門前の道標
（区指定文化財）



宝幢院の鐘楼——梵鐘は区指定文化財
（西六郷 2-52-1）



旧六郷橋の橋門と親柱（仲六郷 4 丁目の 宮本台公園）



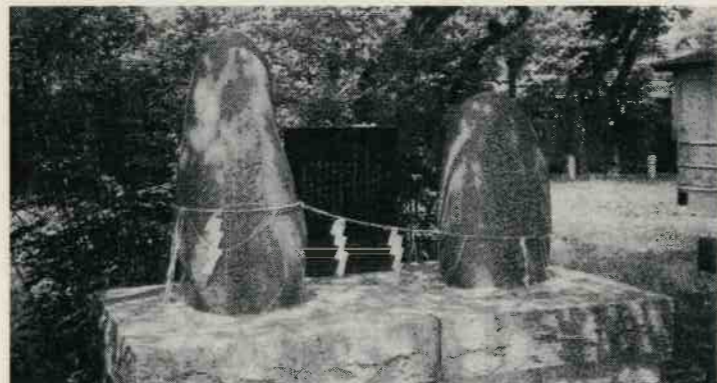
観乗寺の「左内橋之記」碑——
六郷の渡しを廃し、明治 7 年
（1874）1 月 21 日、近代最初の
木橋を架けた八幡塚村の名主
鈴木左内の顕彰碑（東六郷
3-16-1）



木橋時代の六郷橋の親柱（六郷神社）



雑色・八幡神社 30 貫
の力石（南六郷 3-3-6）



北野神社の力石・千年石と万年石（仲六郷 4-29-8）



雑色・熊野神社鳥居の懸額
幕末の三舟のひとり山岡
鉄舟揮毫（仲六郷 2-44-7）

「六郷わがまち」創刊以来の編集委員・
池中武雄氏は、10月25日逝去されま
した。75歳。謹んで哀悼の意します。

計 報

☆小春日和 六郷の史跡めぐりをしてみませんか